



# 原子力発電所の耐震安全性・信頼性に関する 国際シンポジウム

The International Symposium on Seismic Safety of Nuclear Power Plants  
and Lessons Learned from the Niigataken Chuetsu-oki Earthquake

2008年2月26日(火)～27日(水)

柏崎市産業文化会館 文化ホール

- テーマ
- 1.地震の影響を受けた機器の健全性評価
  - 2.地盤変状の影響とその対策
  - 3.防災・火災防護

(講演とパネル討論で構成。詳細はホームページをご覧ください。)

海外からの  
主な発表機関  
(五十音順)

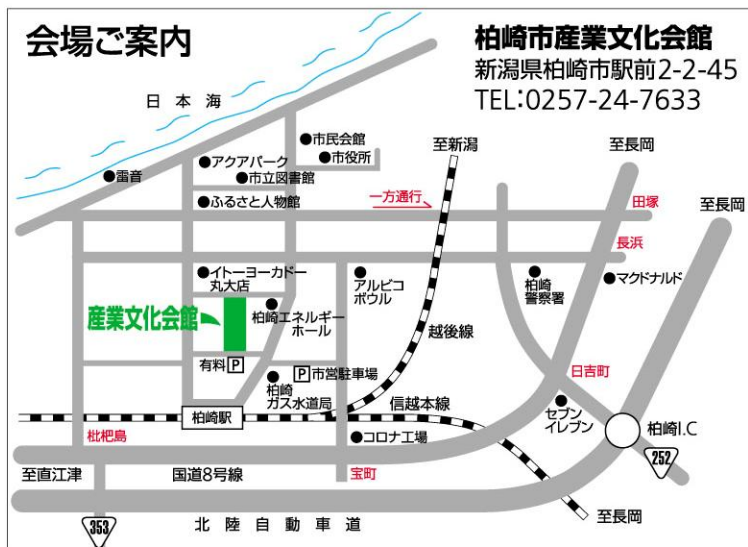
世界原子力発電事業者協会(WANO) フランス電力会社(EDF)  
米国エンタジー社 米国機械学会(ASME) 米国原子力協会(NEI)  
米国原子力発電運転協会(INPO) 米国電力研究所(EPRI)  
米国パシフィック・ガス・電力会社(PG&E)

主 催 社団法人 日本原子力産業協会  
有限責任中間法人 日本原子力技術協会  
財団法人 電力中央研究所

協 賛 (財)原子力安全研究協会 (社)地盤工学会 (社)土木学会  
(五十音順) (社)日本機械学会 (社)日本建築学会 (社)日本原子力学会  
(財)日本原子力文化振興財団 日本地震工学会 (社)日本電気協会  
米国機械学会(ASME) 米国原子力協会(NEI) 米国電力研究所(EPRI)

参加費 **無料**(事前登録制)

使用言語 日英同時通訳



お問合せ先:  
社団法人 日本原子力産業協会 国際・産業基盤強化本部  
電話:03-6812-7109(代表) FAX:03-6812-7110  
〒105-8605 東京都港区新橋2-1-3 新橋富士ビル5F  
E-mail: symposium2008@jaif.or.jp  
ホームページ: <http://www.jaif.or.jp/>

Symposium

International

# 「原子力発電所の耐震安全性・信頼性に関する国際シンポジウム」開催のご案内

平成19年7月16日、新潟県中越沖地震が発生し、東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所近辺では震度6強という極めて強い揺れを記録しました。同発電所で運転中、起動中の原子炉4基は設計通りに自動停止し、7基の原子炉全てにおいて「止める、冷やす、閉じ込める」という原子炉の安全を守るための重要な安全機能は維持されました。しかしながら、3号機の所内変圧器の火災や6、7号機におけるごく微量の放射性物質の放出などが生じ、防災や情報伝達等を含む緊急時対応に課題を残しました。その後、柏崎刈羽原子力発電所は、原子炉およびタービン施設等について点検・復旧作業が行われるとともに、活断層を含む地質調査も進められており、これらの結果について科学的な解明、評価が実施されているところです。

このような一連の事象の調査、分析、評価が進む中、産業界が果たすべき役割は大きく二つあります。一つは、原子力発電所の耐震安全性・信頼性向上を図るために、安全を大前提とした設備の維持・管理および運転管理について、技術的知見を結集することであり、もう一つは、発電所立地地域の皆様をはじめとする国民の皆様のご理解に役立てていただけるように情報を提供し説明していくことです。

その一環として、地震の影響を受けた機器の健全性評価、地盤変状の影響とその対策、および防災・火災防護に焦点をあて、柏崎刈羽原子力発電所の地元におきまして、国内外の専門家が一堂に会し、一般の方の参加を得て、標記国際シンポジウムを下記により開催しますので、ご案内申し上げます。

## 「原子力発電所の耐震安全性・信頼性に関する国際シンポジウム」 参加申込み用紙

(社)日本原子力産業協会 国際・産業基盤強化本部 行

**FAX:03-6812-7110**

(電子メール:[symposium2008@jaif.or.jp](mailto:symposium2008@jaif.or.jp))

お名前	
ご所属／ご職位	
ご住所	〒
電話番号	
FAXまたは 電子メールアドレス	

\*お申し込みは、上記内容をご記入の上、2008年2月15日(金)までに日本原子力産業協会宛、FAX、電子メールまたは郵便にてお送りください。申込受付後は参加証を送付致します。(定員になり次第締め切らせていただきます。)

\*個人情報保護法にもとづき、ご記入頂きました内容については、関係業務の事務処理上、必要な場合に限り使用します。